



平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 ティア

上場取引所 東 名

コード番号 2485 URL <http://www.tear.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富安 徳久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 辻 耕平

TEL 052-918-8254

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	2,422	9.3	286	20.3	275	24.6	166	24.6
25年9月期第1四半期	2,216	7.8	237	2.6	220	3.0	133	18.9

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年9月期第1四半期	18.26	—	—	—
25年9月期第1四半期	14.66	—	—	—

(注)平成25年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	
26年9月期第1四半期	8,888	—	2,948	33.2	
25年9月期	8,504	—	2,873	33.8	

(参考)自己資本 26年9月期第1四半期 2,948百万円 25年9月期 2,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成25年9月期期末配当金の内訳 普通配当 17円50銭 東証上場記念配当 2円50銭

(注)平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成25年9月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	5,087	11.6	575	2.0	536	1.3	331	2.5	36.43
通期	9,900	11.0	980	4.3	880	4.0	540	4.4	59.26

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期1Q	9,112,000 株	25年9月期	9,112,000 株
② 期末自己株式数	26年9月期1Q	692 株	25年9月期	692 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期1Q	9,111,308 株	25年9月期1Q	9,111,461 株

(注) 平成25年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
前事業年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、底堅く推移する個人消費に加え、公共投資や住宅投資の増加と設備投資の持ち直し等により、緩やかではありますが回復傾向となりました。また、景気の先行きに対しましても、企業の景況感や雇用情勢の改善等を背景に、回復傾向は持続するものと見られておりますが、消費税上げに伴う駆け込み需要とその反動による不確実性は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は約30年間にわたり年々通増すると推計されており、直近の葬儀件数につきましても増加傾向で推移いたしました。一方、葬儀単価におきましては、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。また、都市部を中心に高齢化が急速に進行していることもあり、人生の終末や死別後の事前準備を担う葬儀業界への関心は今まで以上に高まるものと予想されます。

かかる環境下、当社は顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人材教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第1四半期累計期間におきましては、中長期目標200店舗体制の実現を目指すべく「新生ティア」をスローガンに掲げ、6項目の戦略テーマを推進してまいりました。新規会館につきましては、直営会館として名古屋市内に「ティア本陣」「ティア松葉公園」を開設したのに加え、大阪府寝屋川市に「ティア寝屋川」を開設し、これにより直営39店舗、フランチャイズ32店舗の合計71店舗となりました。また、既存会館におきましては、葬儀ニーズの多様化に対応するために「ティア港」の改修工事を行い、小規模葬儀に対応した設備を増設いたしました。経費面では、商品改革の一環として、取扱商品や仕入単価の見直しを実施いたしました。また、積極的な人材確保による人件費の増加に加え、会館開設に伴い広告宣伝費が増加いたしました。

この結果、売上高は24億22百万円（前年同期比9.3%増）となり、売上原価率は前年同期と比べ0.8ポイント低下し、販管費は前年同期比8.2%増となりました。これにより、営業利益は2億86百万円（同20.3%増）、経常利益では2億75百万円（同24.6%増）、四半期純利益は1億66百万円（同24.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（a）葬祭事業

当第1四半期累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、堅調に推移する既存店に加え、新たに開設した会館の稼働により、葬儀件数は1,842件（同6.4%増）と順調に増加いたしました。葬儀単価におきましては、葬儀付帯品の取扱いは減少したものの、葬儀の受注を担当する葬儀アドバイザーの増員や祭壇セットプランの見直し等により、前年同期比2.6%増となりました。この結果、売上高は23億57百万円（同7.8%増）、営業利益は4億34百万円（同8.5%増）となりました。

（b）フランチャイズ事業

当第1四半期累計期間におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ3店舗増加し、これによりロイヤリティ収入が順調に増加したのに加え、会館向けの物品販売も増加いたしました。また、紙面広告やウェブ広告を活用した新規クライアントの開発も積極的に実施いたしました。この結果、売上高は65百万円（同115.1%増）、営業利益は10百万円（同297.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における流動資産は14億74百万円となり、前事業年度末に比べ1億6百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が56百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は74億14百万円となり、前事業年度末に比べ2億78百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2億87百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、88億88百万円となり、前事業年度末に比べ3億84百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債は23億74百万円となり、前事業年度末に比べ2億31百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が1億88百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は35億66百万円となり、前事業年度末に比べ77百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、59億40百万円となり、前事業年度末に比べ3億9百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は29億48百万円となり、前事業年度末に比べ75百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益1億66百万円及び剰余金の配当91百万円があったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	939,781	996,118
売掛金	212,044	265,678
商品	22,567	36,000
その他	204,740	187,988
貸倒引当金	△10,513	△11,139
流動資産合計	1,368,621	1,474,647
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,510,023	3,927,715
土地	1,291,021	1,291,021
その他(純額)	824,856	694,229
有形固定資産合計	5,625,901	5,912,966
無形固定資産		
投資その他の資産	133,716	134,519
差入保証金	1,082,578	1,069,015
その他	333,584	337,594
貸倒引当金	△40,000	△40,000
投資その他の資産合計	1,376,162	1,366,610
固定資産合計	7,135,780	7,414,097
資産合計	8,504,401	8,888,744
負債の部		
流動負債		
買掛金	262,156	335,303
短期借入金	86,668	275,000
1年内返済予定の長期借入金	1,170,032	1,193,588
未払法人税等	164,000	90,700
賞与引当金	78,469	45,010
その他	380,911	434,412
流動負債合計	2,142,236	2,374,014
固定負債		
長期借入金	2,918,575	2,974,655
資産除去債務	193,108	218,033
その他	377,475	373,734
固定負債合計	3,489,159	3,566,423
負債合計	5,631,396	5,940,437

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,750	580,750
資本剰余金	214,250	214,250
利益剰余金	2,078,265	2,153,564
自己株式	△307	△307
株主資本合計	2,872,958	2,948,256
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	47	50
評価・換算差額等合計	47	50
純資産合計	2,873,005	2,948,306
負債純資産合計	8,504,401	8,888,744

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,216,274	2,422,204
売上原価	1,434,502	1,547,488
売上総利益	781,772	874,716
販売費及び一般管理費	543,890	588,435
営業利益	237,881	286,280
営業外収益		
受取利息	1,358	1,909
受取保険金	121	2,195
その他	3,344	4,892
営業外収益合計	4,824	8,998
営業外費用		
支払利息	19,114	20,104
その他	2,723	—
営業外費用合計	21,838	20,104
経常利益	220,867	275,173
特別利益		
固定資産売却益	—	82
特別利益合計	—	82
特別損失		
固定資産除売却損	—	1,359
特別損失合計	—	1,359
税引前四半期純利益	220,867	273,896
法人税、住民税及び事業税	50,458	85,500
法人税等調整額	36,871	21,984
法人税等合計	87,330	107,484
四半期純利益	133,536	166,411

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,185,978	30,296	2,216,274	—	2,216,274
計	2,185,978	30,296	2,216,274	—	2,216,274
セグメント利益	400,818	2,721	403,540	△165,658	237,881

(注)1. セグメント利益の調整額△165,658千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,357,045	65,159	2,422,204	—	2,422,204
計	2,357,045	65,159	2,422,204	—	2,422,204
セグメント利益	434,762	10,815	445,577	△159,297	286,280

(注)1. セグメント利益の調整額△159,297千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。